

競技要項

1. 試合方法・試合時間

A グループ

全試合 正規20分×3P 練習10分 休憩12分

B グループ

全試合 正規15分×3P 練習10分 休憩1-2P間5分 2-3P間10分

C グループ

全試合 正規15分×3P 練習10分 休憩1-2P間5分 2-3P間10分

敗者順位決定リーグ戦は、勝ち点により順位を決定し、勝ち点は「勝ち3点」・「負け0点」とする。
なお勝ち点と同数の場合、次の規定により上位を決定する。

勝ち点の多い順

当該校の対戦成績

当該校同士の試合で得失点差の大なるもの

当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの

全試合の得失点差の大なるもの

全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの

全試合のペナルティタイム(分)の小なるもの

ランキング順位の上位校

※Aグループの決勝戦及び3位決定戦・準決勝戦は、第3ピリオド終了時に同点の場合、直ちに氷上スケーター4対4、サドンヴィクトリー方式による正味5分間の延長ピリオドを行う。

なおかつ同点の場合、IIHF競技規則に基づくゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。
さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決める。

上記以外のすべての試合は、第3ピリオド終了時に同点の場合、IIHF競技規則に基づくゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決める。

各グループにおいて、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ後のゲームタイムはランニングタイムとする。ただし、決勝戦及び3位決定戦、準決勝戦は適用しない。

2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則ならびに(公財)日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

3. 補助規則（今大会東京都アイスホッケー連盟で定めるローカルルール）

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) プレイヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクを着用しなければならない。
バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。
- 4) プレイヤーはマウスガードを着用する。
マウスガードの色は本体全体が白・ベージュ・クリア（透明）などではなく、着用を容易に確認できる色のものを使用する。
- 5) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を必ず確認する。
試合中、正しく防具を着用していないプレイヤーに対し、警告なしに1回目の違反より直ちにミスコンダクト・ペナルティを科すものとする。
尚、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。
- 6) 練習中については、ゲーム・スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 7) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りすること。
不在の場合は試合放棄とみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。役員とは大会要項13項のチーム役員登録された者を指す。
- 8) ベンチには、GK2名・プレイヤー20名の計22名、役員6名までが入れる。
尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 9) タイムアウトは全グループの全試合、各チーム1回使用できるものとする。
- 10) オールメンバー表にはGK1名を必ず記載すること。また、オールメンバー表は試合開始45分前までに必ず提出すること。
- 11) 試合当日（試合開始時）試合を遂行するのに必要な最低人数（GK1名以上を含む選手8名）に満たないメンバーしか集まらなかったチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗（スコア0対15）とする。
- 12) 次のとおりレフェリー登録を義務づける。
試合は必ずクリニックを受け登録されたものが担当する。
ランキング 1～12 各チーム最低2名以上（2年生以上）
ランキング 13～28 各チーム最低1名以上（3年生以上、但しホッケー経験者ならこの限りにあらず）
- 13) トーナメント表の左側を仮ホームチームとし、本部席より向かって左側のベンチに入ること。
- 14) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。但し、対戦する両チームのユニフォームが同系色の場合は、仮ホームチームがユニフォームを着替える責任を有する。
- 15) ホーム・ビジター制度は、全グループ・全試合において適用する。
ホームチームの決定は、試合開始前のパックスにより決定する。その際仮ホームチームがパックスの表裏を選択できるものとする。
- 16) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。
- 17) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、出入口に近いベン

チのチームから先に速やかに退場する。

その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退出すること。

尚、後のチーム（氷上にいるプレイヤー及び GK）は、一度自チームのベンチに戻り、レフェリーの指示により退場することとする。

先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームのベンチに戻らなかった場合は、レフェリーの判断により違反したチームに対し、ベンチ・マイナー・ペナルティーを科すものとする。

- 18) ベンチ入り学生スタッフ及び学生マネージャーは試合中のベンチ内においてフルフェイスマスク装着ヘルメットを着用すること。

罰則) 事前の連絡もなく、監督会議、レフェリークリニック、オフィシャルクリニック、閉会式、試合、オフィシャル当番及び当番レフェリーに遅刻、欠席、棄権及び連盟規約違反をした場合、罰金から無期限試合出場停止までの連盟の定める罰則を科す。